

# 取扱説明書

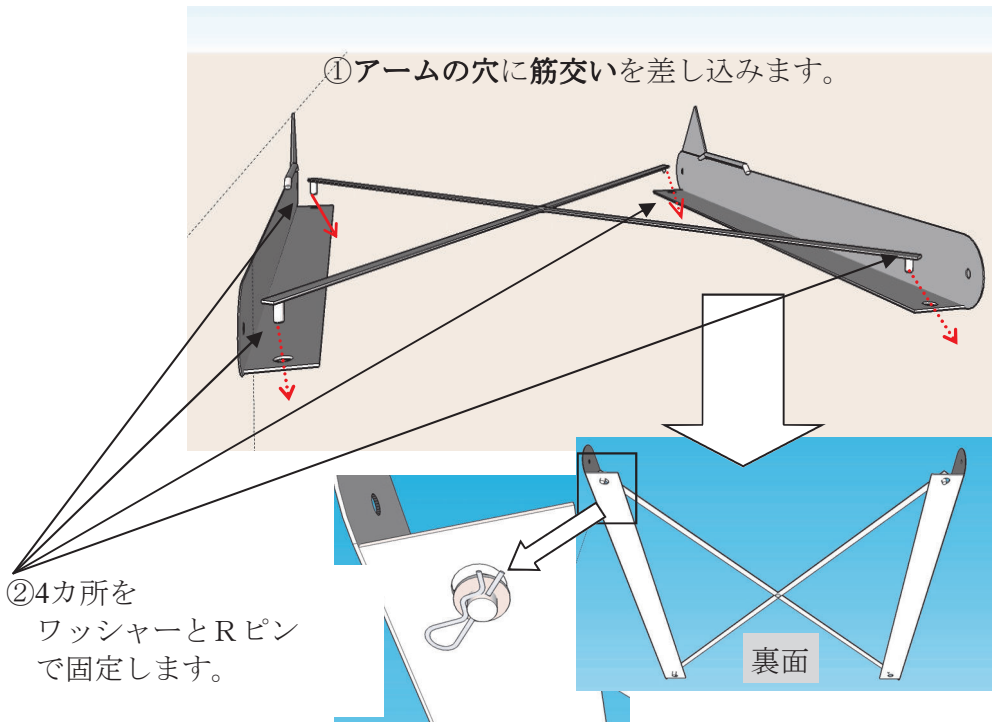
作業用機械の為 **危険** が伴います！！  
この取説を良くお読みになって下さい

梱包部品 下記の部品がすべてあるか確認してください

1	・ベルト	2本は本体に取付済み	6本
2	・ハッチピン		4本
3	・Rピン		5本 (予備 1個)
4	・ワッシャー		5個 (予備 1個)
5	・バネ		2本
6	・バネ止め		2本
7	・筋交い		1本
8	・アーム		2本
9	・排雪版		1個
10	・ハーネス		1個
11	・ゴムマット		2枚
12	・アンテナ		2本
13	・S字フック	ベルトに取付済み	2本



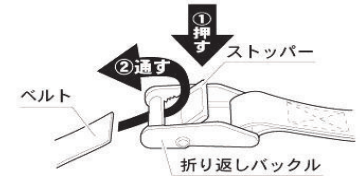
## 手順A・アームと筋交いの組み



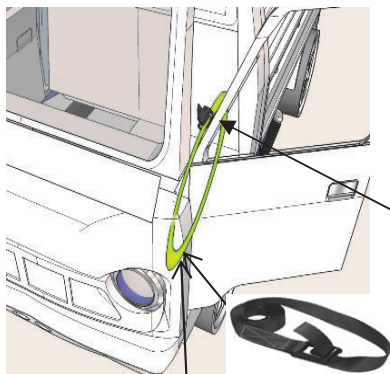
## ベルト バックルの使用方法

### 使用方法

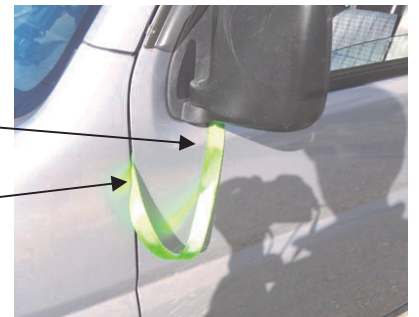
ストッパーを押しながらベルトを通します。  
(ベルトがねじれていないか確認してください。)



## 手順B・車体ベルトの取付け



- ①ガラス窓を開け、**ベルト**を窓枠に通し**リング状**に固定します。
- ②バックルで長さを決めます。
- ③左右ともに①の様にします。
- ④通したら車ドアを閉めます。
- ⑤ベルトを固定する黒いバックルは車体を傷つけるおそれがある為、**ドアに挟まない様に車内に入る様**にしてください。



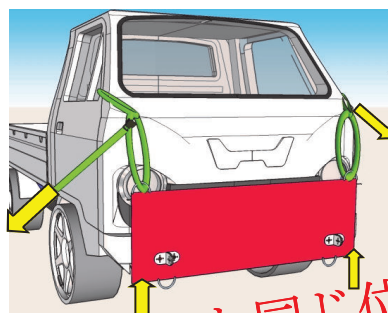
ワゴンR等ノーズのある車は、このリングを長くします。

## 手順C・ハーネスの取付け (I)

- ①・ハーネスを車の前に置きます
- ②・**手順B**で出来た輪とハーネス上部の**金属の輪**に**ベルト**を通し仮止めしてください。  
※この際、バックルが車の塗装面に触れないように方向にベルトをかけてください。
- ③・左右両方かけます。

- ④・**ベルトの先端を左右、交互**に引き、ハーネスの**下部が車高と同じ高さ**まで引き上げます。  
※ノーズのある軽(ミラ・アルト等)も同じ手順でハーネスを上げてください

- ⑤・左右対称にハーネスを取付たら、余りのベルトで**黒いバックル**に巻き付けてください。  
※塗装面に傷を付けない為です。ベルトが垂れているとタイヤに巻き込んだりして危険です。



手順C・ハーネスの取付け（Ⅱ）

**ハーネスがこの装置の最重要部分になります**

ネットで注文された方には 下記の動画を  
紹介してありますが、もう一度  
「軽トラ 除雪機 取付」  
で検索して  
下記の動画を見てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=dYre69kEkG4>

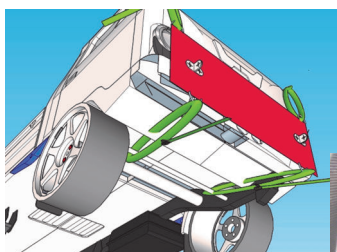


塗装面にバックルが当たらない

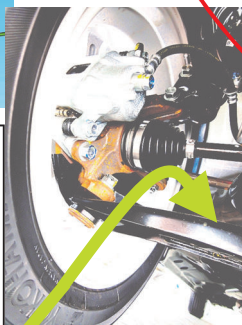
- ⑥・ハーネス下部の輪にベルトを通し車両下部のフレーム丈夫な金属部分にフックを通して仮止めします必ず左右ともに付けて下さい。

- ⑦・下のベルトの先端を左右均等に強く引く。  
※強く引くことにより、ハーネスの金板が車の曲面に沿って曲がり、使用車両に合った形状に変化します。  
※次に上のベルトにゆるみが無いか確認してください。

- ⑧・余ったベルトは、切るか、ハーネス内のウレタンの中に挿入して絶対に地面に垂れないようにして下さい。接地したベルトにタイヤが乗り上げ、破損の原因になります。※ベルトを切る場合は切り口をライター等で溶かし、繊維のほころびが出ないようにしてください。



このような丈夫な金属のフレームを探してフック入れてください。

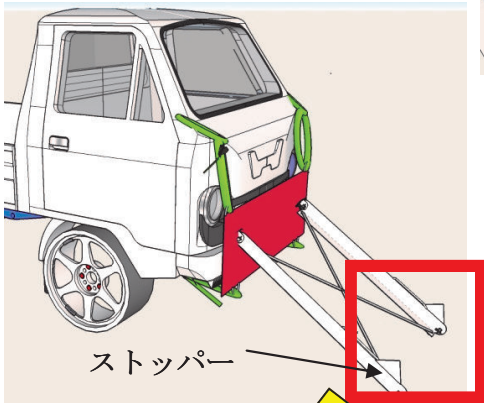


車の下回りで丈夫そうな箇所にベルトとフックを通して下さい。フレームがあればそこがベストです。ハーネスが車の形状に沿って曲がるくらい強く引いて下さい。ここが重要です。わからない場合は091-1119-7222に電話してください

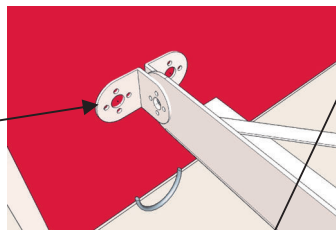
## 手順D・アームの取付

①手順Aで作ったアームを取り付けます。

②ハーネス側にあるスリットにアームアームを差し込みます。

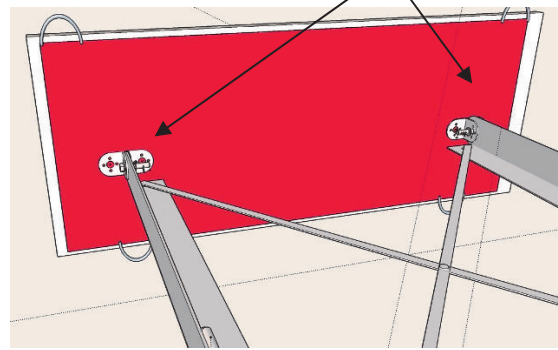
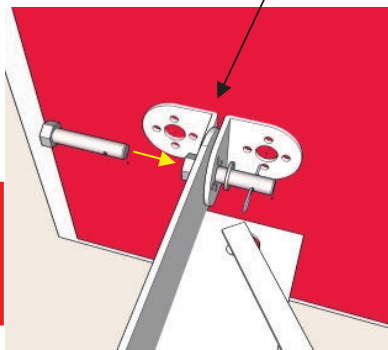


ストッパー



③スリットの穴に合わせてハッチピンを差し込みワッシャーとRピンで固定します。

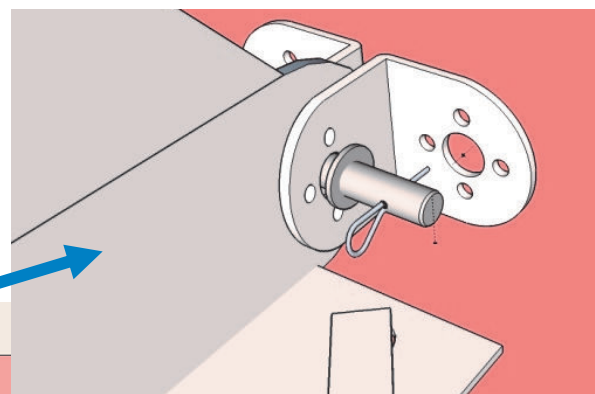
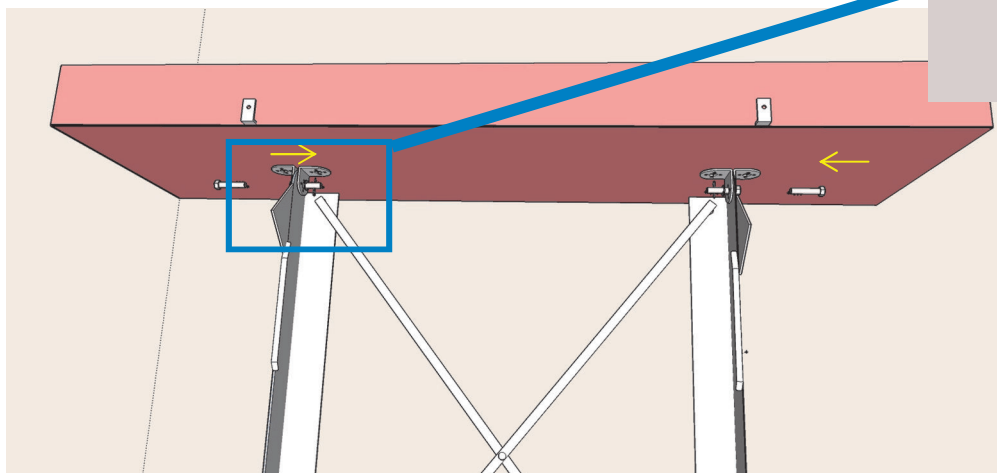
④左右同じ様に固定します。



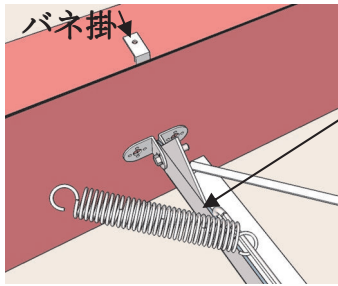
三角の「排雪版ストッパー」が付いている方が下です。

## 手順E・排雪板の取付(1)

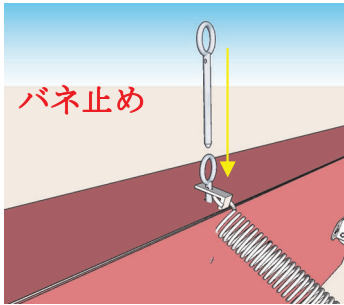
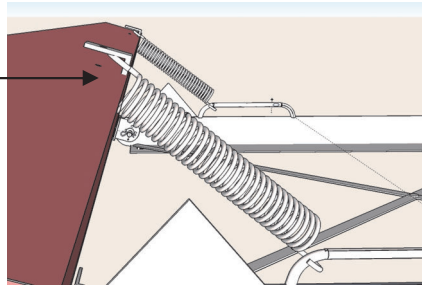
①手順Dと同じように、アームを排雪板側にあるスリットに差し込みハッチピン・ワッシャー・Rピンで固定します。



# 手順G・排雪板の取付(2)



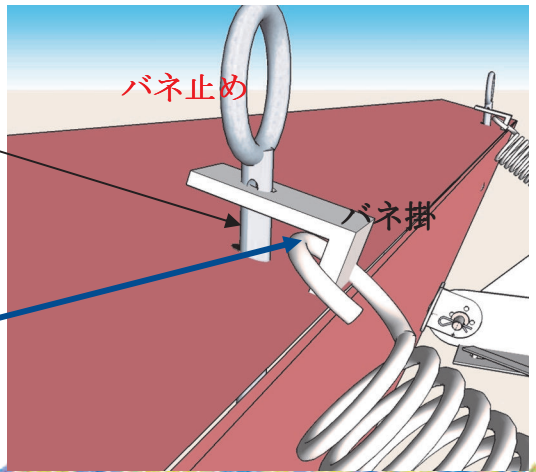
⑥バネを回して排雪版上部のバネ掛けにかけます。



⑦バネ止めを上から差し込みます

⑧バネ止めはバネフックの外側になるようにします。

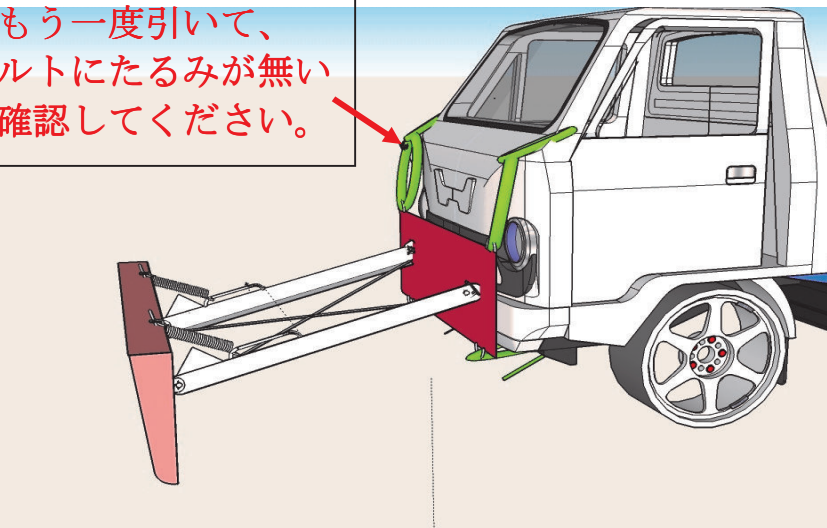
⑨左右双方差し込んだら完成です。



必ず、バネ掛けとバネ止めの間に入るようにして下さい。

## 完成図

完成したら上のベルトをもう一度引いて、ベルトにたるみがないか確認してください。

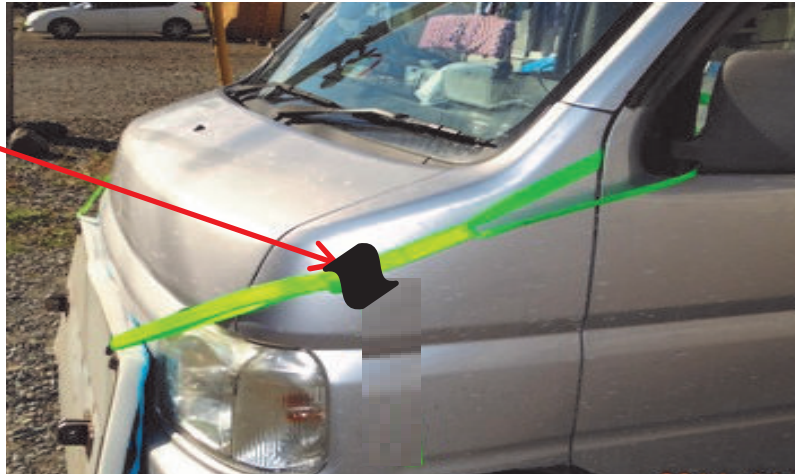


ベルトバックルが車体に当たる場合はベルトの下同包してあるゴムの滑り止めシートを巻くようにして挟んでください。

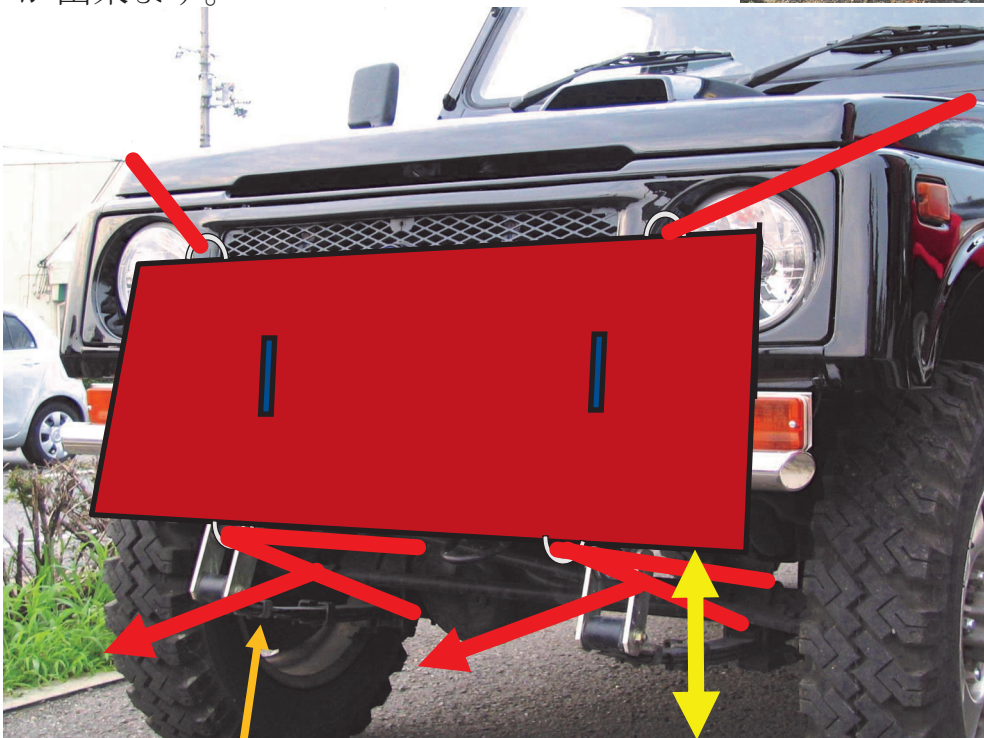
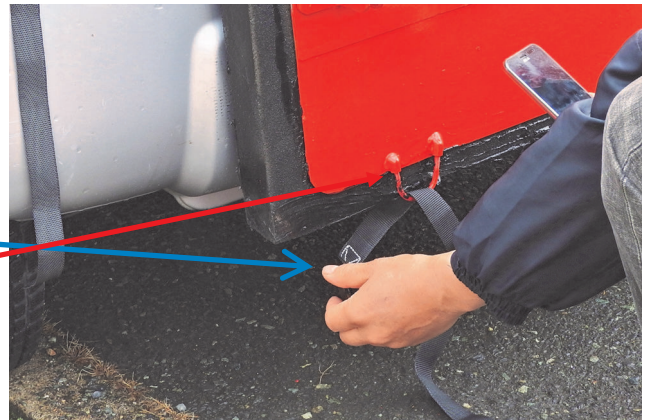
お疲れ様でした。  
安全走行をお願いします

# 補 足 説 明 1

車体とベルトが当たる箇所。  
同封の黒いゴムシートを巻くよう  
にして、車体を保護してください。



ベルトを通す時は、常にバックルを  
手にしてバックル側をリングに通し  
てください。簡単にベルトを引く事  
ができます。



ジムニーなど車高の高い車の場合、車  
側の板（クッション付き）の下端を地  
面から**20センチ**位まで落として、取  
り付けてください。

下部ベルトをシャーシの開口部に通し  
た後、ベルトの先端を強く引いてくだ  
さい。板が曲がり、車体の形状に  
フィットしてきます。

また、**少しだけ試走行した後、**  
上下のベルトを増し締め、強く締め直  
してください。

これが固定されていないと、除雪機と  
車が破損の恐れがあります。  
装着する際、不明な点があれば遠慮無  
くお電話ください。

090-1119-7122 林敏之

赤い線は  
装着ベルトです。

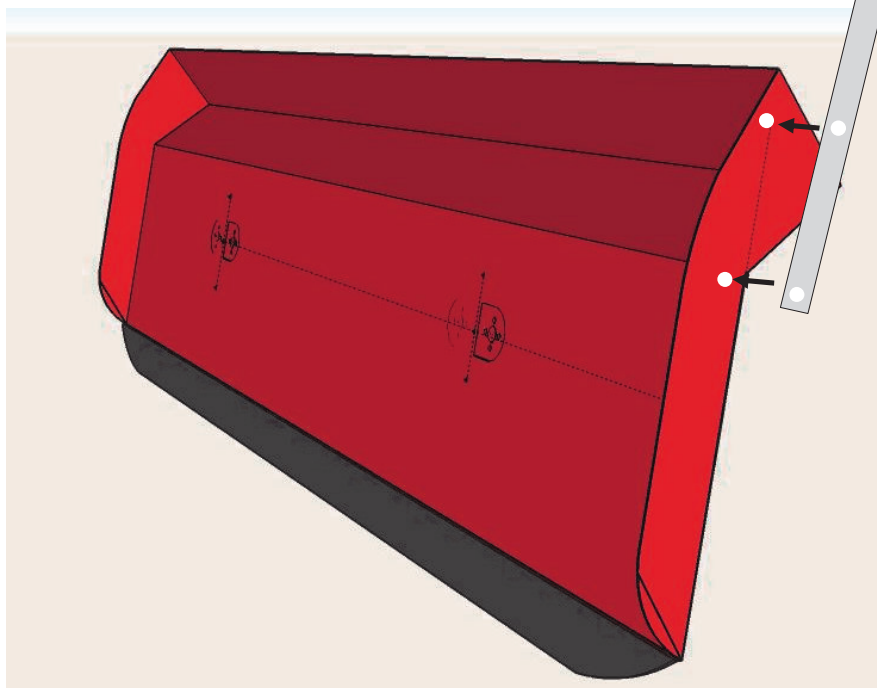
地面から  
約20センチ

## 補 足 説 明 2

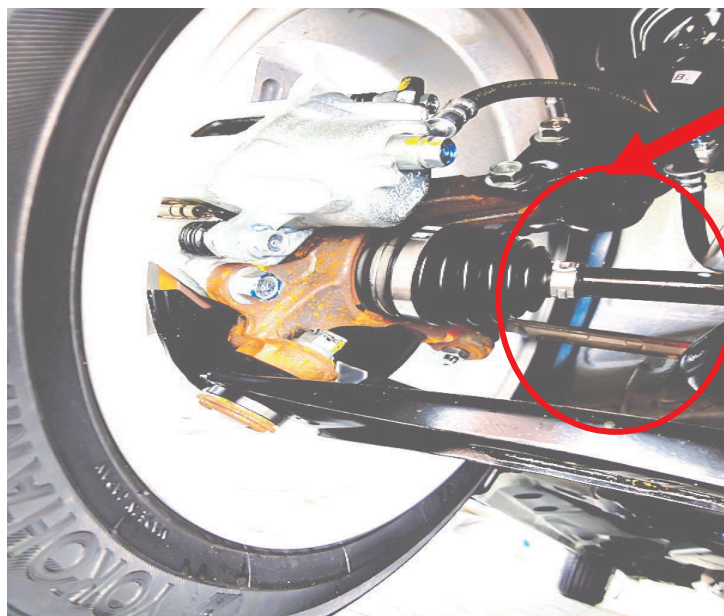
### 手順G-2・アンテナ の 取 付 (2)

①

アンテナの穴の位置と排雪版の穴の位置を合わせアンテナを取り付けてください。ナットはダブルナットにしています。同梱包のレンチで1個目を閉めた後2個目も締めて下さい。シングルナットだと、排雪時の振動でゆるみ脱落するおそれがあります。



### 手順C-2・下部ベルトの取付 補足説明



**重要！！**

これはドライブ  
シャフトです。

大変弱い部品なのでここ  
にはヒモ又はフックを  
かけないで下さい。

## 注意事項

- ① 除雪は**歩く位の速度 時速5Km位**でお願いします。  
スピードが速い状態で、障害物に接触しますと、スノープラウ本体はもちろん車両を破損してしまふこともあります。  
バックで後退時にありがちですが、後退中ハンドルを切り、排雪版の片側を、道路標識のポールやその他障害物に接触すると**ベルトに負担がかかり、切れる恐れがあります。**  
慣れない間は、ゆっくりゆっくり進行してください。
- ② **段差等、障害物は、斜めに入らず真っ直ぐ、ゆっくり押してください。**  
「車の輪留め」等、7cm位は乗り越えます。**堅い雪により傾斜が付いている場合はその上を滑って行き、アームは上方にあがります。**
- ③ 除雪中、車の窓はベルト・バックルを噛まないようにしてください。  
吹雪や異常に寒いとき以外は窓は開けておいて下さい。
- ④ 取り外しは逆の要領です。
- ⑤ シーズン中は分解せず、ベルトだけ外して保管して置くことも可能です。
- ⑥ 使用しない時は、乾いた状態で保管してください。  
ウレタン部分が劣化します。
- ⑦ エアバック装備の車で、車両やスノープラウが破損するような衝撃を受けた場合、作動する可能性があります。（当方では一度もありませんが・・・）  
**万一エアバックが作動しても保証の対象外とさせていただきます。**
- ⑧ クラッチ車の場合、**半クラッチの多用は絶対**に避けてください。  
**クラッチに関する保証も対象外です。**
- ⑨ 4WDの場合、出来るだけスタッドレスタイヤ**だけ**にして下さい。  
チェーンを巻くと駆動力が増し、スノープラウの耐久性を越えてしまう可能性があります。
- ⑩ **原則私有地のみ**の使用にしてください。  
軽自動車は構造変更不可の為、道路交通法違反になります。
- ⑪ 排雪版は、使用しているうちに、**両サイドが曲がってきます。**  
これは**車両への衝撃を排雪版が吸収しているため**です。  
**曲がっても除雪に支障をきたしません。**

よろしければ

動画URLをもう一度ご覧下になって下さい。

<http://kurago.jimdo.com/>

「スノープラウ 林機械」 で検索